



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本パーカライジング株式会社

コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 里見 多一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 田村 裕保

TEL 03-3278-4333

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	59,973	0.7	8,691	△8.0	9,732	△5.4	4,769	△16.0
23年3月期第3四半期	59,553	19.4	9,444	96.0	10,289	75.7	5,679	99.8

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,150百万円 (△40.8%) 23年3月期第3四半期 5,324百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	76.97	—
23年3月期第3四半期	91.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	127,211	83,428	55.0	1,129.84
23年3月期	124,925	81,303	54.8	1,104.39

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 70,007百万円 23年3月期 68,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—		
24年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△0.6	10,300	△16.4	11,700	△14.3	6,000	△19.5	96.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	66,302,262 株	23年3月期	66,302,262 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	4,339,952 株	23年3月期	4,337,197 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	61,965,877 株	23年3月期3Q	61,972,335 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 四半期毎の業績の推移（連結）	11
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)の経済環境は、債務問題の深刻化により欧州経済が後退するとともに、米国経済も低調に推移いたしました。それに伴い、アジア各国の輸出も減速し、全般的に世界経済は停滞感を強めて推移いたしました。一方、国内経済は震災から徐々に復興してまいりましたが、企業の生産活動が震災前の水準に近づくとともに鈍化の兆しが見受けられます。また、歴史的な円高などの輸出環境の悪化から貿易収支の赤字を記録するなど厳しい状況で推移しております。

金属表面改質の事業環境につきましては、主要な取引先であります自動車業界では、震災後の生産体制は早期に復旧したものの、タイの洪水被害により再度サプライチェーンの見直しが迫られるなど、日系自動車メーカーにとって厳しい環境で推移しております。また、鉄鋼業界でも各国との競争が激化しており、事業環境は厳しいものとなっております。

このような厳しい経営環境において当社グループでは、競争力のある新技術の創出とその市場展開を強化するとともに、あらゆるコストの削減に努めてまいりました。

この結果、当社グループの連結業績は次のようになりました。

【連結決算の概況】

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第3四半期累計期間 (平成24年3月期)	59,973	8,691	9,732	4,769
前第3四半期累計期間 (平成23年3月期)	59,553	9,444	10,289	5,679
増減額	419	752	556	910
増減率	0.7%	8.0%	5.4%	16.0%

当第3四半期累計期間の売上高は59,973百万円と前年同四半期に比べ419百万円(0.7%)の増収となりました。海外需要の増加から装置事業の売上高が伸びましたが、薬品事業、加工事業などは震災後の需要減少の影響もあり減収となりました。しかしながら、当第3四半期会計期間3ヶ月(平成23年10月1日~平成23年12月31日)の売上高は21,974百万円と前年同四半期会計期間に比べ1,124百万円(5.4%)の増収となり、薬品事業、加工事業も増収となるなど順調に推移いたしました。

営業利益は8,691百万円と前年同四半期に比べ752百万円(8.0%)の減益となりましたが、第2四半期累計期間の減益率13.5%から縮小するとともに、当第3四半期会計期間3ヶ月の営業利益は3,626百万円となり、比較的好調に推移いたしました前年同四半期会計期間を若干上回りました。

販売費及び一般管理費は14,325百万円と前年同四半期に比べ1.2%増加いたしました。その内訳は人件費が0.5%の減少、経費が3.9%の増加で推移しております。

営業外の損益では、受取技術料の増加、為替差損の減少などにより、営業外の収支は前年同四半期と比べ196百万円改善し1,041百万円の収入となり、経常利益は9,732百万円と前年同四半期に比べ556百万円(5.4%)の減益となりました。

特別損益では、持分変動損失71百万円など特別損失が186百万円計上されました。また、国内の法人税法改正に伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債を新たな税率で計算した結果、法人税等調整額の総額が507百万円と膨み、四半期純利益は4,769百万円と前年同四半期に比べ910百万円(16.0%)の減益となりました。

【投資情報】

(単位:百万円)

	当第3四半期累計期間	前第3四半期累計期間
減価償却費(有形)	2,617	2,391
設備投資額	3,450	1,946
研究開発費	1,594	1,596
有利子負債	6,898	8,257

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

事業の種類	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失()			
	当第3四 半期累計	前第3四 半期累計	増減額	増減率	当第3四 半期累計	前第3四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	26,961	27,744	783	2.8%	6,644	7,373	729	9.9%
装置事業	8,193	6,083	2,109	34.7%	271	2	273	- %
加工事業	23,009	23,481	471	2.0%	4,617	4,982	364	7.3%
その他	1,809	2,243	434	19.4%	179	309	130	42.1%
調整額(消去)	-	-	-	-	3,021	3,218	197	-
連結	59,973	59,553	419	0.7%	8,691	9,444	752	8.0%

< 当第3四半期累計期間 = 平成23年4月1日から平成23年12月31日まで >

薬品事業

外部顧客に対する売上高は26,961百万円と前年同四半期に比べ783百万円(2.8%)の減収となり、営業利益は6,644百万円と729万円(9.9%)の減益となりました。当事業部門は、耐食性、耐磨耗性、潤滑性などの機能性向上を目的に、金属などの表面に化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。国内は期前半の出荷量の減少に加え、製造コストの増加により減収減益で推移いたしました。一方、アジア、欧米における海外の売上高は若干の増収で推移しておりますが、原料費、人件費等の増加が響き、営業利益は減益で推移するなど、国内外ともに厳しい状況で推移いたしました。

装置事業

外部顧客に対する売上高は8,193百万円と前年同四半期に比べ2,109百万円(34.7%)の増収となり、営業利益は271百万円と273百万円(前年同四半期は2百万円の損失)の増益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。国内の需要は依然低調に推移しておりますが、海外での自動車業界向けの需要が増加し、増収増益で推移いたしました。

加工事業

外部顧客に対する売上高は23,009百万円と前年同四半期に比べ471百万円(2.0%)の減収となり、営業利益は4,617百万円と364百万円(7.3%)の減益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。震災やユーザーの海外移転など影響もあり、国内の加工事業は減収減益で推移する一方で、海外では増収増益で推移いたしました。しかしながらアジア地域の人件費は増加する傾向にあり、その収益は伸び悩みました。

その他

外部顧客に対する売上高は1,809百万円と前年同四半期に比べ434百万円(19.4%)の減収となり、営業利益は179百万円と130百万円(42.1%)の減益となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを営んでおります。震災の影響による物流品の減少により運送事業が低調に推移するとともに、ビルメンテナンス事業も減収減益で推移いたしました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産等の状況に関する分析)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,285百万円増加し127,211百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では、現金及び預金が1,802百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が2,431百万円、未成工事支出金の増加などで棚卸資産が2,472百万円増加いたしました。固定資産では、有形固定資産が322百万円減少し、主に保有株式の時価減少などにより投資有価証券が1,185百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ160百万円増加し43,782百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では、未払法人税が1,365百万円、賞与引当金が1,213百万円それぞれ減少した一方で、設備受注の前受金増加などにより流動負債のその他が1,188百万円増加いたしました。

少数株主持分を含めた純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,125百万円増加し83,428百万円となり

ました。主な増加といたしましては、利益剰余金の増加などにより株主資本が3,551百万円、少数株主持分が550百万円それぞれ増加した一方で、その他の包括利益累計額が1,977百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は55.0%と前連結会計年度末から0.2%増加するとともに、1株当たり純資産は1,129円84銭と25円45銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(通期の見通し)

国内経済は、企業の生産活動が震災前に近づき鈍化する兆しを見せております。また、債務問題に揺れる欧米経済が減速するなか、アジア各国の技術力向上と円高により、日本の輸出環境は大変厳しい状況となっております。さらには原子力発電所の事故や電力不足といった問題も根本的な解決には至っておらず、先行きの景気減速は避けられないものと推測されております。また、堅調なアジア各国の成長も輸出が鍵を握っており、日本同様厳しさが増すものと予想されます。

このような厳しい経済環境において当社グループでは、原点回帰をスローガンとして先進性と独創性に秀でた表面改質技術の開発を進めるとともに、海外市場の事業展開を強化するため、今後とも海外での設備投資を積極的に進め、企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

通期の見通しにつきましては、当第3四半期累計期間の業績は、収益面で若干予想を上回っておりますが、第4四半期会計期間ではタイの洪水の影響などもあることから、現状では計画の範囲内で推移しているとの判断し変更はありません。今後の経済情勢等の変化などにより、業績見通しが変わった場合には直ちにお知らせいたします。

平成24年3月期連結業績の見通し(平成23年5月13日公表)

	金額	前期比	増減率
売上高	80,000百万円	483百万円	0.6%
営業利益	10,300百万円	2,027百万円	16.4%
経常利益	11,700百万円	1,949百万円	14.3%
当期純利益	6,000百万円	1,454百万円	19.5%

[通期業績予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。]

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1) 税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,683	23,880
受取手形及び売掛金	25,035	27,466
商品及び製品	1,687	1,696
仕掛品	1,715	3,951
原材料及び貯蔵品	3,323	3,551
その他	4,253	4,258
貸倒引当金	108	102
流動資産合計	61,590	64,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,904	11,822
土地	14,545	14,343
その他(純額)	8,854	8,815
有形固定資産合計	35,304	34,981
無形固定資産		
	1,866	1,885
投資その他の資産		
投資有価証券	18,231	17,045
その他	8,112	8,777
貸倒引当金	180	182
投資その他の資産合計	26,164	25,641
固定資産合計	63,335	62,508
資産合計	124,925	127,211
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,992	13,417
短期借入金	3,268	3,033
1年内返済予定の長期借入金	556	355
未払法人税等	2,981	1,616
賞与引当金	2,316	1,103
その他	7,706	8,894
流動負債合計	28,821	28,420
固定負債		
長期借入金	3,138	3,481
退職給付引当金	9,538	9,771
その他	2,124	2,109
固定負債合計	14,800	15,361
負債合計	43,622	43,782

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,913	3,913
利益剰余金	65,508	69,063
自己株式	3,619	3,622
株主資本合計	70,362	73,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,163	1,421
繰延ヘッジ損益	50	59
為替換算調整勘定	4,041	5,268
その他の包括利益累計額合計	1,929	3,906
少数株主持分	12,869	13,420
純資産合計	81,303	83,428
負債純資産合計	124,925	127,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	59,553	59,973
売上原価	35,957	36,956
売上総利益	23,596	23,017
販売費及び一般管理費	14,152	14,325
営業利益	9,444	8,691
営業外収益		
受取利息	49	87
受取配当金	226	272
受取賃貸料	241	226
持分法による投資利益	561	555
その他	366	310
営業外収益合計	1,445	1,453
営業外費用		
支払利息	108	78
為替差損	307	206
その他	184	126
営業外費用合計	600	411
経常利益	10,289	9,732
特別利益		
固定資産売却益	10	18
関係会社株式売却益	-	10
その他	4	0
特別利益合計	14	28
特別損失		
固定資産売却損	3	35
固定資産除却損	19	12
投資有価証券評価損	0	9
持分変動損失	-	71
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22	-
災害による損失	-	54
その他	4	2
特別損失合計	50	186
税金等調整前四半期純利益	10,254	9,575
法人税等	3,438	3,897
少数株主損益調整前四半期純利益	6,815	5,677
少数株主利益	1,135	908
四半期純利益	5,679	4,769

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,815	5,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	350	758
繰延ヘッジ損益	61	7
為替換算調整勘定	881	1,626
持分法適用会社に対する持分相当額	197	134
その他の包括利益合計	1,491	2,527
四半期包括利益	5,324	3,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,371	2,791
少数株主に係る四半期包括利益	953	358

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	27,744	6,083	23,481	57,309	2,243	59,553	-	59,553
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,010	427	46	1,484	1,189	2,674	2,674	-
計	28,755	6,510	23,528	58,794	3,433	62,228	2,674	59,553
セグメント利益又は 損失()	7,373	2	4,982	12,353	309	12,663	3,218	9,444

(注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 3,218百万円には、セグメント間取引消去97百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用 3,316百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	26,961	8,193	23,009	58,164	1,809	59,973	-	59,973
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,078	174	23	1,276	1,014	2,291	2,291	-
計	28,040	8,367	23,033	59,441	2,824	62,265	2,291	59,973
セグメント利益	6,644	271	4,617	11,533	179	11,712	3,021	8,691

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 3,021百万円には、セグメント間取引消去217百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用 3,239百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移(連結)

平成24年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 23年4月～23年6月	第2四半期 23年7月～23年9月	第3四半期 23年10月～23年12月	第4四半期 24年1月～24年3月	通算 23年4月～24年3月
売上高	17,904	20,094	21,974		59,973
売上総利益	6,896	7,713	8,407		23,017
営業利益	2,253	2,810	3,626		8,691
経常利益	2,692	3,187	3,853		9,732
税金等調整前当期純利益	2,696	3,093	3,785		9,575
当期純利益	1,358	1,818	1,592		4,769
総資産	125,185	127,995	127,211		—
純資産	82,796	83,703	83,428		—

平成23年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 22年4月～22年6月	第2四半期 22年7月～22年9月	第3四半期 22年10月～22年12月	第4四半期 23年1月～23年3月	通算 22年4月～23年3月
売上高	18,698	20,004	20,850	20,930	80,483
売上総利益	7,568	7,720	8,307	7,793	31,389
営業利益	2,949	2,906	3,588	2,883	12,327
経常利益	3,236	3,234	3,818	3,359	13,649
税金等調整前当期純利益	3,215	3,217	3,821	3,021	13,275
当期純利益	1,625	1,870	2,183	1,774	7,454
総資産	118,525	120,683	122,613	124,925	—
純資産	77,002	77,917	80,206	81,303	—

平成22年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 21年4月～21年6月	第2四半期 21年7月～21年9月	第3四半期 21年10月～21年12月	第4四半期 22年1月～22年3月	通算 21年4月～22年3月
売上高	14,692	17,570	17,615	19,515	69,393
売上総利益	4,618	6,257	6,893	7,371	25,141
営業利益	375	1,960	2,482	2,741	7,560
経常利益	672	2,299	2,884	3,198	9,055
税金等調整前当期純利益	642	1,771	2,866	2,934	8,215
当期純利益	268	945	1,629	1,288	4,131
総資産	111,008	112,525	115,004	119,101	—
純資産	71,566	72,884	73,729	76,133	—

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失()			
		当第3四 半期連結 累計期間	前第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	当第3四 半期連結 累計期間	前第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	19,934	20,798	863	4.2%	5,449	5,944	495	8.3%
	アジア	6,669	6,692	22	0.3%	938	1,181	243	20.6%
	欧米	356	254	102	40.2%	116	56	60	108.0%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,078	1,010	68	6.8%	140	191	50	26.5%
	計	28,040	28,755	715	2.5%	6,644	7,373	729	9.9%
装置 事業	日本	4,439	3,688	751	20.4%	8	332	341	102.7%
	アジア	3,752	2,394	1,358	56.7%	153	268	114	42.7%
	欧米	0	0	0	38.2%	0	0	0	38.2%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	174	427	253	59.3%	107	61	46	76.3%
	計	8,367	6,510	1,856	28.5%	271	2	273	-
加工 事業	日本	16,329	17,116	786	4.6%	3,460	3,918	458	11.7%
	アジア	4,725	4,500	224	5.0%	867	883	15	1.8%
	欧米	1,955	1,864	90	4.8%	188	73	115	156.7%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	23	46	23	49.1%	101	106	4	4.5%
	計	23,033	23,528	494	2.1%	4,617	4,982	364	7.3%
報告セグメント計		59,441	58,794	646	1.1%	11,533	12,353	820	6.6%
その 他	日本	1,623	2,162	538	24.9%	170	302	132	43.8%
	アジア	185	81	104	128.9%	6	4	1	39.3%
	欧米	-	-	-	-	-	-	-	-
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,014	1,189	175	14.7%	2	2	0	27.0%
	計	2,824	3,433	609	17.8%	179	309	130	42.1%
合計		62,265	62,228	37	0.1%	11,712	12,663	950	7.5%
調整額		2,291	2,674	382	14.3%	3,021	3,218	197	6.1%
連結損益計算書計上額		59,973	59,553	419	0.7%	8,691	9,444	752	8.0%

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	当第3四 半期連結 累計期間	前第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	当第3四 半期連結 累計期間	前第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	44,984	45,890	905	2.0%	9,302	10,053	751	7.5%
アジア	15,361	13,693	1,667	12.2%	1,895	2,240	344	15.4%
欧米	2,312	2,119	192	9.1%	305	130	175	135.1%
合計	62,658	61,703	955	1.5%	11,504	12,424	920	7.4%
調整額	2,685	2,150	535	24.9%	2,812	2,980	167	5.6%
連結損益計算書計上額	59,973	59,553	419	0.7%	8,691	9,444	752	8.0%